

## 第 106 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 17 年 4 月 22 日 (金) 14:00 ~ 16:30

場 所 日本交通協会 第 2 会議室

出席者 委員長 信太 (佐賀大)

委 員 稲垣 (横河電機) 内田 (電通大) 大木 (日電検) 佐山 (防衛大)

田辺 (電中研) 中島 (三菱電機) 廣瀬 (産総研) 作田 (日本大)

幹 事 作本 (日電検)

幹事補佐 白井 (日電検)

### 議 事

#### 1. 議事録の確認。

- ・異議なく承認された。

#### 2. 運営委員会報告 (3 月 3 日開催分)

作本幹事 (関根前委員長代理出席) より以下の報告があった。

イ. 調査専門委員会の解散 (2 件) および新設 (4 件) が承認された。

##### [ 解散 ]

- ・ポリマーがいし材料表面の放電特性評価と劣化現象調査専門委員会

(誘電・絶縁材料技術委員会)

- ・次世代超高周波マイクロ磁気デバイス調査専門委員会 (マグネティックス技術委員会)

##### [ 新設 ]

- ・リソグラフィ先端技術調査専門委員会

(光応用・視覚技術委員会)

- ・生体および医療における磁気利用調査専門委員会

(マグネティックス技術委員会)

- ・マイクロ磁気デバイスの情報通信機器への応用技術調査専門委員会

(マグネティックス技術委員会)

- ・技術交流の歴史に関する国際共同研究調査専門委員会

(電気技術史技術委員会)

ロ. 技術委員会委員構成員の変更について

- ・計測技術委員会から提出した委員退任および追加が承認された。

ハ. 卓越技術 DB 委員会について

- ・卓越技術の DB は 5 年間で 3000 件を目標に集めている。このうち電気学会は 800 件を集める必要がある。

ニ. 専門領域のキーワード見直しについて

- ・投稿論文査読者の割当てをキーワードにより機械的に行うことで、査読の迅速化が図れる。計測技術委員会からは既に提出しているが、参考までに各委員にもメールでお知らせする。

#### 3. 平成 17 年度活動計画並びに計測研究会開催最終案

作本幹事より平成 17 年度活動計画並びに計測研究会開催最終案について説明があった。

- ・三次案と変更はない。7 月の委員会で平成 18 年度の一次案を提案したい。

- ・新設の調査専門委員会は今年度に 2 件を予定したい。案があれば提案して欲しい。

・見学会に対する予算要求は次年度に要求したい。ただし、見学場所を予め決定しておく必要がある。

- ・7 月の研究会は大阪の中央電気倶楽部での開催を計画する。技術委員会も併せて行うかどうか検討する。

#### 4．平成 16 年度活動状況

作本幹事より平成 16 年度活動状況について説明があった。

- ・見学会は 11 月にアンリツ（株）で実施した。
- ・ 5 月に予定していた計測研究会は開催できなかった。平成 16 年の研究会発表件数は 73 件となった。

#### 5．作本幹事より運営委員会に提出した計測技術委員会設置趣意書について説明があった。

#### 6．研究会活動補助金

作本幹事より研究会活動補助金について報告があった。

- ・研究会予稿集の売上げの 3%が技術委員会に補助される。用途は懇親会補助が主であるが、今後、個人名での領収書の取扱いは難しくなる。

#### 7．活動資金報告

作本幹事より活動資金について報告があった。

- ・活動資金は単行本の出版、英文特集号の発行、特別講演の補助などに使用される。計測技術委員会はホームページの作成・更新に充てている。
- ・ホームページに研究会発表論文のアブストラクトを載せることの可否については、学会に確認する。

#### 8．作本幹事より 8 月 8 日に岡山大学で開催される第 16 回計測連合シンポジウムについて紹介があった。

#### 9．編集委員会報告

作田委員より編集委員会の報告があった。

- ・共通英文誌が来年 5 月から隔月で発行され、A 部門は 7 月号を担当する。
- ・査読グループに海外の査読者を入れる。また、12 の技術委員会から査読者を推薦する。
- ・計測分野の信号処理に関する英文特集論文が来年 6 月に発行される予定である。エディタは関根先生で、原稿締切は 8 月 20 日である。
- ・英語論文の投稿料は和文論文の半額となる。
- ・学会情報や解説記事などの紹介をお願いする。

#### 次回予定

日 時 平成 17 年 7 月 29 日（金）

場 所 未定